



「1年を振り返って」

校長 佐々木 光晴



早いもので平成23年度が終わろうとしています。全国各地でだれもが、大きな転換点であった年として心に残すこととなりました。東北地方の大震災や原子力発電所の事故により、凶らずも家族のかたちが変わり、自分のふるさとを離れなければならない方がたくさんいたからです。

昨年4月に着任し、入学生がひとりもないということの影響が生徒にどうであるのか。地域の生涯学習センターとして期待に応える教育活動ができるのか、正直大変不安でした。教職員数が減じられ、嫌がおうでも一層の工夫改善が求められました。私たちは、生徒がいる・働く場所がある・地元で高校があるなど当たり前と考えていたことが、実はそうではないことに復興を通して改めて気づかされました。

さて、教育活動を活発化するための要因は、いつの時代も教師の意欲と生徒の若さによるところが大きいのではないのでしょうか。手前味噌ですが、本校の教職員は熱心に生徒と向かい合い、積極的に地域に入ってくれました。学校の廊下は、生徒と先生方の笑い声がいつも絶えません。授業はもちろん、部活動、学校行事、天売ならではの水産実習に力を注ぎ、また祭りや体育協会をはじめスポーツや地域行事へは自ら参加し楽しむことができました。

「いつ辞めようかなと考えてばかりいた」「学校来るのが、面倒臭くて」「同級生がいればなあ」と、正直で真っ直ぐな気持ちをぶつけてくる、瞳の澄んだ生徒にも私はとても驚かされました。学ぶだけでなく、仕事を持ち責任を背負っている定時制生徒だからこそ、言葉に実感がこもっています。

世間では、学校教育は戦後まもなく善悪を教えていたが、近年損得しか教えていないのではないのか。生徒に無反応で知識だけを伝える教師がいるなど、批判的な意見を耳にすることもあります。富良野に住む脚本家倉本聰さんは、教員向け研修で「知識を伝えるのが教師ではない。いい兄、姉のように人間として愛されるのが基本」と語ったそうです。

“克己”という校訓を掲げる学校に勤務することの自覚を持って、自分の仕事に対する高い誇りや責任感を醸成することを次年度も生徒に伝えて行きたいものです。



最後の生徒会行事

涙なみだの予餞会実施

2月27日(月)に、卒業生である大友さんの卒業を祝い、送り出す予餞会が行われました。準備は在校生の三浦君と生徒会担当教員のみで行うという、最少人数での準備となりましたが、大いに盛り上がり、感動的な会となりました。

学校長挨拶・生徒会長挨拶に始まり、恒例のお好み焼きをみんなで食べる食事会。この食事会は、高校生活においては卒業生と卒業担任による最後の協同作業であるお好み焼き入刀により開始されました。その後生徒会執行部によるレク「天高アクターアクトレス(演技力対決)」「部首で漢字」、卒業生によるレク「定番SHOW」を行い、生徒・教員11名でさらに親睦を深め楽しいひと時を過ごしました。

後半は、大友さんの3年間を振り返るスライドショー、在校生からのメッセージ、お世話になった先生方からのビデオレター、そして現在の天売高校教員からのメッセージがあり、予餞会にて放映されたスライドショーやビデオレター等を記念品として贈呈しました。最後は天高祭のラストでみんなで歌った思い出の曲を歌い、記念写真の撮影で終了。

楽しさあり、懐かしさあり、感動ありの非常に良い予餞会となりました。

今年度の学校通信終了です

第8号をもって今年度の学校通信を全て発行いたしました。次年度以降も見やすい紙面や内容を心がけて発行します。ありがとうございました。(編集担当：三宅智)



今年度天売高校学校開放講座、全講座終了しました 次年度の講座にもぜひご期待下さい

今年度の学校開放講座は全て終了いたしました。後期後半に開講した4講座について以下に掲載いたします。次年度以降も道民カレッジと連携して、学校開放講座を実施予定です。子供向け講座に偏ってしまった部分があったので大人向け講座の開講や、小中学校のチャレンジ教室とも連携するなど、来年度に向けて新しい取り組みを考えていく予定です。次年度もぜひたくさんのご参加をお待ちしております。(ポスター・I P電話などで告知致します)

目指せブラインドタッチ！ 子どもパソコン講座実施



12月10・11日(土日)、天売高校コンピュータ室にて学校開放講座「子どもパソコン講座」を実施しました。小学生2名の参加があり、1日目は基本的なキー操作について学びました。ホームポジション(最初に指を置く場所)を確認してから、あいうえお順にひらがなを画面だけ確認しながら打つ練習をしました。最初は戸惑いながらも、すぐに慣れてきた様子。

最後にはほとんどキーを見ない状態で打てるようになりました。2日目はワープロソフトを使ったシール作りを実施。自分の名前や、いろいろな図形を使ってたくさんのシールを作りました。

テーマは何と「エネルギー」 楽しい理科実験教室実施



天売小中学校の理科室にて高校の佐藤教頭、高橋先生、中学校の鈴木先生を講師に「楽しい実験教室」を実施し、小学生9名が参加しました。今回のテーマはエネルギー。力を加えて熱が発生し綿が燃える、お湯が沸くなど、いろんなエネルギーがいろいろな姿を変える様子を観察し、実際自分たちも試しました。また乾電池を使ったモーター作りや、発光ダイオードを使った電池作りを行い全員作成成功。科学技術への興味関心を深めました。

滑って転んで楽しんで 基礎スキー講座実施

1月28日(土)朝からの猛吹雪にもかかわらず小学2年生の子供から大人まで5名が参加し小中学校の裏山で学校開放講座「基礎スキー教室」が行われました。

最初は10センチ近い降雪に加え強風という悪コンディションのため雪に足を取られながら悪戦苦闘でしたが斜面が踏み固められるにつれて本来の滑りが出来るようになりました。参加者は最新技術である内スキー先導からのターンにトライ。最初は慣れない動きで戸惑っていましたが大回りから小回りと滑る回数が増えるに従ってスムーズなターンが出来るようになりました。最後は全員で頂上からのフリー滑走。みんな思い思いのシュプールを描きながら気持ち良く滑ることが出来ました。



ふみふみ夢の島クッキング 子ども手打ちうどん

2月12日(日)に天売小中学校で学校開放講座「夢の島 cooking～こども手打ちうどん」を実施しました。小麦粉を練り上げ、一からうどんを作る工程に、参加した児童たちは顔に小麦粉がついて真っ白になるハプニングもありながら、初めての体験に大喜び。

うどんの美味しさは「コシ」の強さで決まります。コシを出すためには、大変強い力が必要です。大人でも難しいこの工程を、子どもたちは音楽に合わせてリズムカルに踏むことで、コシのある麺が出来上がりました。ゆで上がったうどんは、太めでちょっと不格好でしたが、食べ応えがあり、子どもたちの満足な表情を見ることができました。

